



日耳鼻医学会FAXニュース

NO 116

平成18年6月2日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimujenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

医療団体は団結して政策の提言を

日耳鼻医学会全理事会で武見敬三理事強調

5月29日に開催された平成18年度第1回全理事会で、武見敬三理事は、国会での医療関連法案の審議などについて説明を行い、医療関係団体は団結して政策提言をすべきと強調した。発言の要旨は以下の通り。

医療制度改革関連法案の特徴は、1つは医療費適正化という言葉が初めて入った。明らかに財政主導の改革であるということを示している。遺憾なことである。2つめは生活習慣病予防に焦点をあてた地域医療と連携した新しい健康政策の策定、3つめの特徴は地方分権化である。医療保険も例外でなく、都道府県を単位として保険者を整理統合する方針がはっきりと出てきた。都道府県ごとに保険料を設定できるようになっている。高齢者医療保険制度の創設であるが、従来市町村に保険者になるよう依頼していたが、市町村に強い抵抗があり、市町村を支部単位とする連合会ができ、それが運営するという形になった。国民健康保険も、財政基盤の安定が必要であるので、やはり県単位であろうということで県単位で運営する方向になっていくことがはっきりしてきた。

これらに対して各医療関係団体がどのように対応して、自らの地域における医療を守るために対応できるかが求められることになった。都道府県レベルでは、議会は予算措置を含めて行政に対する権利が担保されていないので、議員が連携して行政に働きかけることは期待できないという現状である。従って、医療関係者がより密接に行政と連携をとって、財政主導型でなく、医療主導型の政策を出さないといつまでも医療を守るための財源を守る理論武装ができないし、医療政策決定に参画できない。

鈴木聡男日本医師会理事に総会特別講演を

6月25日(日)午後1時より、東京大丸11・12階ルビーホールで開催される日耳鼻医学会総会・代議員会の特別講演を日本医師会理事の鈴木聡男先生(内科)に願う事が決まった。会次第は以下の通り。

第1部 総会(13:00~)

1. 開会 物故会員に黙祷
2. 理事長挨拶
3. 特別講演 日本医師会理事 鈴木聡男先生
4. 議長選出
5. 報告 平成17年度庶務報告及び事業報告
6. 議事
 - 第1号議案 平成17年度収入・支出決算について承認を求める件(中略)
 - 第4号議案 平成18・19年度役員を選出・承認を求める件
 7. 第31回臨床家フォーラム担当挨拶 愛媛県
 8. 第32回臨床家フォーラム担当挨拶 岐阜県
 9. その他
 10. 閉会

第2部 懇親パーティ(15:30~16:30)

お詫び：議案書の発送が遅れており、ご迷惑をかけたおります。近日中に発送の予定ですのでご了承下さい。

【21世紀耳鼻臨床医フォーラム in 愛媛】 ホームページ (第31回臨床家フォーラム)

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/msuzy/matsuyama.htm>



日時 8月26日(土)・27日(日)
会場 道後温泉：メルパルク松山
参加費 15,000円
懇親会費

会員	8,000円
家族・職員	4,000円
聴力検査講習会参加費	4,000円

全体集会特別講演講師に宝住与一日医副会長 プログラム

第1日目分科会(8月26日 15:00~18:00)

- 1) 医薬分業の現状と保険薬局のこれから
- 2) ここまで出来る画像診断
- 3) 小児急性中耳炎をめぐって
- 4) 耳鼻科と呼吸器科の関連について
- 5) 新しい創傷治療「湿潤療法」の実際
- 6) ORCAと電子カルテ(医療ITの現場報告)
- 7) 日常診療の工夫
 - a) 電話予約受付システム
 - b) 検査を見直す
 - c) 工夫
- 8) 職員のための聴力検査講習会

*懇親会(19:00~)

第2日目(8月27日 09:00~)全体集会

- 1) 愛媛大学における人工内耳埋め込み術の現状
 - a. リハビリ面から
 - b. 臨床面から
- 2) 補聴器をより良く使うために
- 3) これからの医療制度 (宝住与一日本医師会副会長)

エクスカーション

8月26日(土曜日) 参加費13,000円
メルパルク11時 == 大島「千年松」にて海鮮料理
(昼食) == 亀老山展望台 == メルパルク16時30分

= 訂正とお詫び =

準備が遅れ、1次案内の発送は6月下旬になる見込みですのでご了承下さい。また、前号で分科会5の「乾燥療法」は「湿潤療法」の間違いでした。訂正してお詫び申し上げます。

プロスタグランジンD₂-トロンボキサンA₂受容体拮抗剤
アレルギー性鼻炎治療剤

バイナス錠
50mg・75mg Baynas® (トロンボキサンの塩酸塩)

効用・効果、用法・用量、用法・用量に関連する使用上の注意、禁忌を逐次増補修正の経緯については、製品添付文書を参照して下さい。

※本剤は小児薬に対する安全有効性評価が十分でないため、小児への投与は慎重に行ってください。

バイナス錠 株式会社 日耳鼻医学会事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

Bayer HealthCare (2008年8月現在)